

令和7年度保護林モニタリング調査箇所

No.	計画区	名称	保護林区分	保護林番号	面積	アクセス	5年の要素	ニホンジカ被害対策の有無 [対策の内容]	次回調査時期 (年)	2010	2015	2020	2025
										H22	H27	R2	R7
1	会津	雄国沼湿原	希少	9	174.13	○	ウ:乾燥化 オ:鳥獣害(ニホンジカ)	○ [センサーカメラ]	5	○	○	○	○
2	利根下流	根本沢シオジ遺伝資源	希少	40	21.28	○	—	× [—]	10	○	○	○	○
3	伊豆	ハ丁池・皮子平	生物群集	13	716.03	○	オ:鳥獣害 (ニホンジカ)	○ [防護柵]	5	○	○	○	○
4		白川ウラジログシ遺伝資源	希少	78	5.08	○	オ:鳥獣・病虫害 (ニホンジカ、カシノナガキクイムシ)	× [—]	5	○	○	○	○
5		皮子沢モミ	希少	74	11.26	○	—	× [—]	10	○	○	○	○
6		しらぬたの池モミ・スギ	希少	79	39.96	○	ウ:水位低下 オ:鳥獣害(ニホンジカ)	× [—]	5	○	○	○	○
7		寒天モミ	希少	75	11.29	○	キ:その他(多様性基礎調査データから評価可能)	× [—]	5	○	○	○	○
8		浄蓮ウラジログシ・アカガシ	希少	77	37.35	○	オ:鳥獣・病虫害 (ニホンジカ、カシノナガキクイムシ)	× [—]	5	○	○	○	○
9		猫越ウラジログシ	希少	81	11.28	○	オ:鳥獣・病虫害 (ニホンジカ、カシノナガキクイムシ)	× [—]	5	○	○	○	○
10		長九郎シャクナゲ	希少	80	7.38	○	キ:その他(多様性基礎調査データから評価可能)	× [—]	5	○	○	○	○
11		黄楊の峯ツゲ	希少	76	18.85	○	オ:鳥獣害 (ニホンジカ)	○ [防護柵]	5	○	○	○	○

注1: 保護林区分

希少: 希少個体群保護林、生物群集: 生物群集保護林

注2: 5年の要素

ア: 遷移の途中段階にある保護林

イ: 復元を行っている保護林

ウ: 保護対象の個体群の持続性に問題がある保護林

エ: 保護林外部からの影響を受けている保護林

オ: 鳥獣・病虫害被害が顕著にある保護林

カ: 温暖化により影響が顕著にある保護林

キ: その他、短期間で大きな変化が想定される保護林

令和7年度保護林モニタリング調査結果概要

No.	計画区	名称	保護林区分	結果概要
1	会津	雄国沼湿原	希少	<ul style="list-style-type: none"> ・保護対象である高層湿原の植物群落は、概ね維持されているが、出現種に変化があり、低木種や乾性草本が侵入、成長している可能性がある。 ・沼の水量が大きく減少しており、水際が後退し、裸地化した箇所が広くみられた。
2	利根下流	根本沢シオジ遺伝資源	希少	<ul style="list-style-type: none"> ・保護対象種であるシオジは、大径木、小径木が健全に生育しており、実生は調査プロット全体で多数確認された。 ・ニホンジカによる剥皮がシオジ含む樹木で確認された。
3	伊豆	ハ丁池・皮子平	生物群集	<ul style="list-style-type: none"> ・林相等に大きな変化はみられないものの、ニホンジカによる剥皮・枝葉食等の被害が確認された。被害は顕著ではないものの、前回調査時よりもやや増加していた。 ・ニホンジカによる剥皮は特にヒメシャラに多くみられた。 ・種類不明の昆虫類の穿孔痕が確認された。
4		白川ウラジログシ遺伝資源	希少	<ul style="list-style-type: none"> ・林相等に大きな変化はまだみられないものの、ニホンジカの採食圧による影響で下層植生が保護林全体としてはやや減少していた。 ・カシノナガキクイムシの穿孔痕が確認された。 ・保護対象種であるウラジログシの稚樹や実生が少ない状況であった。
5		皮子沢モミ	希少	<ul style="list-style-type: none"> ・保護対象種のモミに幹折れや枯損が散見された。稚樹や実生は少ない。 ・ニホンジカによる剥皮等が確認されたものの、影響は軽微であった。
6		しらぬたの池モミ・スギ	希少	<ul style="list-style-type: none"> ・保護対象種のモミ、スギは大径木は健全な生育がみられたものの、稚樹や実生が少ない。 ・ニホンジカによる剥皮等の被害も多くはないが、ニホンジカの生息密度が高い。 ・しらぬたの池はモリアオガエルの産卵環境として継続して利用されていたが、水位がやや低下している可能性がある。
7		寒天モミ	希少	<ul style="list-style-type: none"> ・林相等に大きな変化はみられず、ニホンジカによる剥皮等の被害は軽微であった。 ・種類不明の昆虫類の穿孔痕が確認された。
8		浄蓮ウラジログシ・アカガシ	希少	<ul style="list-style-type: none"> ・保護対象種のウラジログシを含む樹木にニホンジカによる剥皮が確認された。 ・下層植生が非常に乏しい。 ・カシノナガキクイムシの穿孔痕が確認され、枯死したウラジログシ大径木も確認された。
9		猫越ウラジログシ	希少	<ul style="list-style-type: none"> ・保護対象種のウラジログシ大径木がカシノナガキクイムシの被害を受けており、枯死木も確認され、ギャップ化がみられた。 ・ウラジログシを含む樹木にニホンジカによる剥皮や枝葉食等が確認された。
10		長九郎シャクナゲ	希少	<ul style="list-style-type: none"> ・前回調査までキョウマルシャクナゲとされていたが、今回調査の観察によるアマギシャクナゲと同定した。 ・保護対象種であるアマギシャクナゲを含む樹木にニホンジカによる剥皮がみられた。 ・種類不明の昆虫類の穿孔痕が確認された。
11		黄楊の峯ツゲ	希少	<ul style="list-style-type: none"> ・保護対象種のツゲにニホンジカによる剥皮や枝葉食が確認され、下層植生がやや減少しており、ニホンジカの影響が生じている。 ・ツゲの実生は局所的に生育している。 ・種類不明の昆虫類の穿孔痕が確認された。

令和7年度保護林モニタリング調査箇所（位置図）

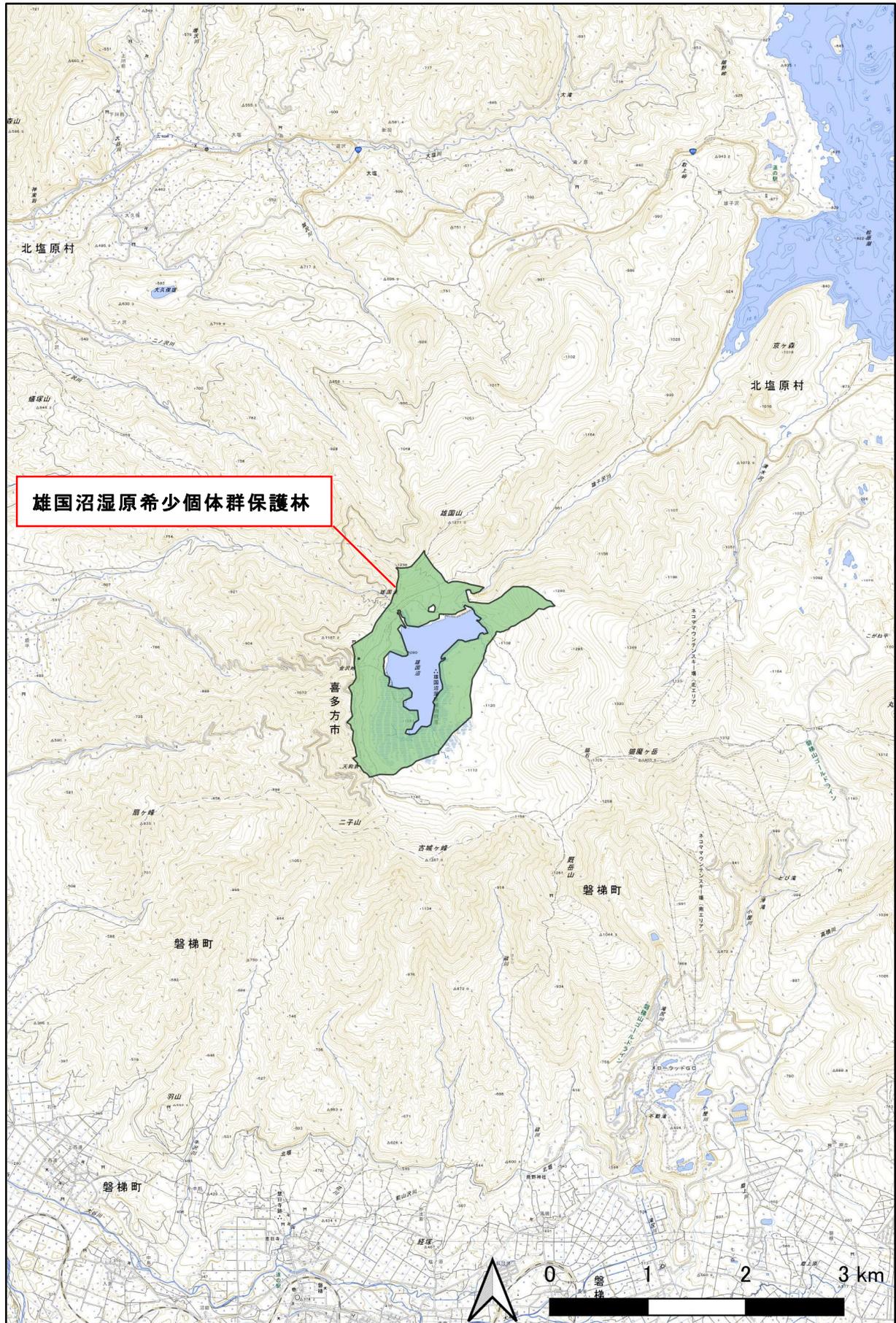


図1 会津森林計画区（会津森林管理署）

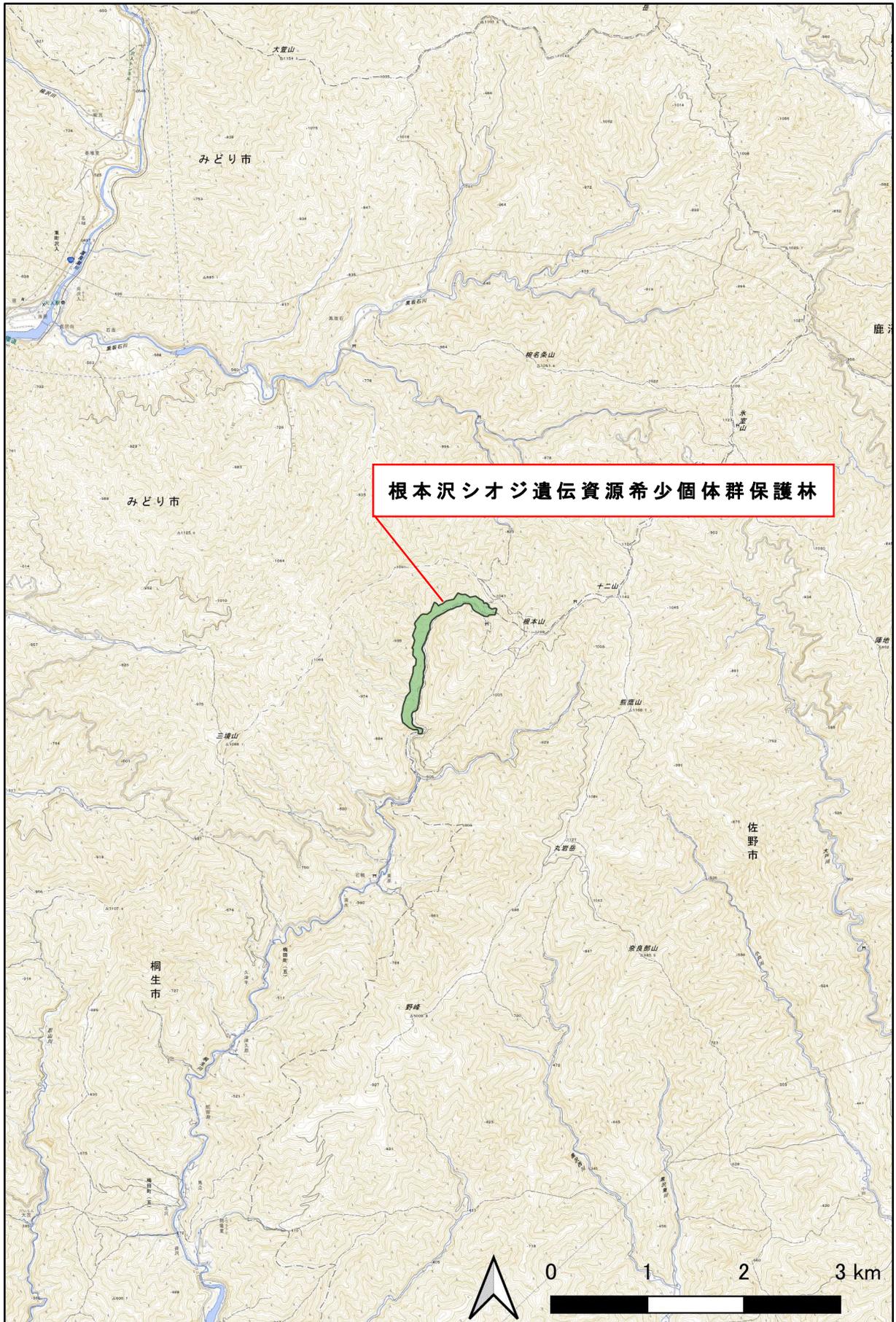


図 2 利根下流森林計画区（群馬森林管理署）

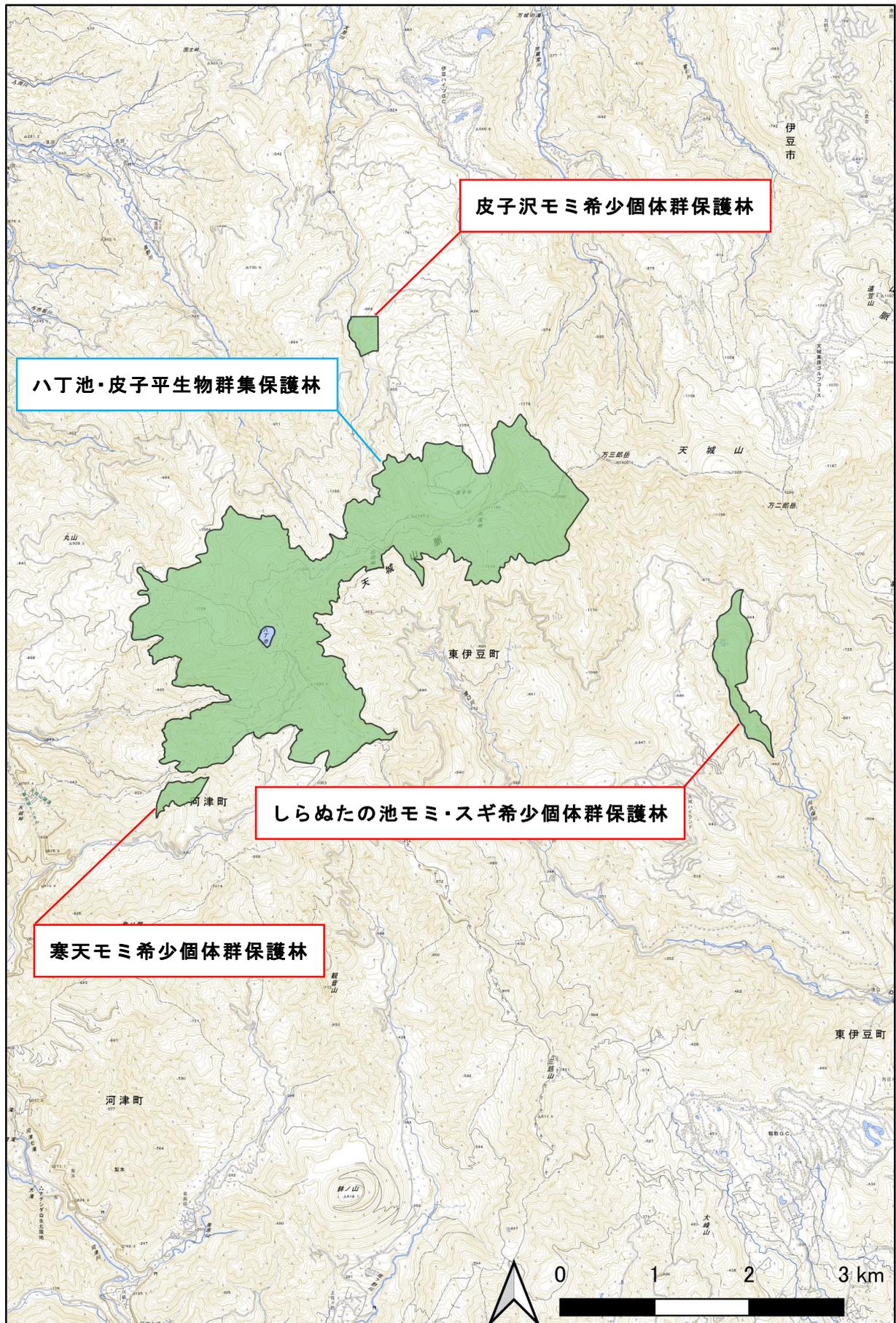


図 3 伊豆森林計画区（伊豆森林管理署）(1)

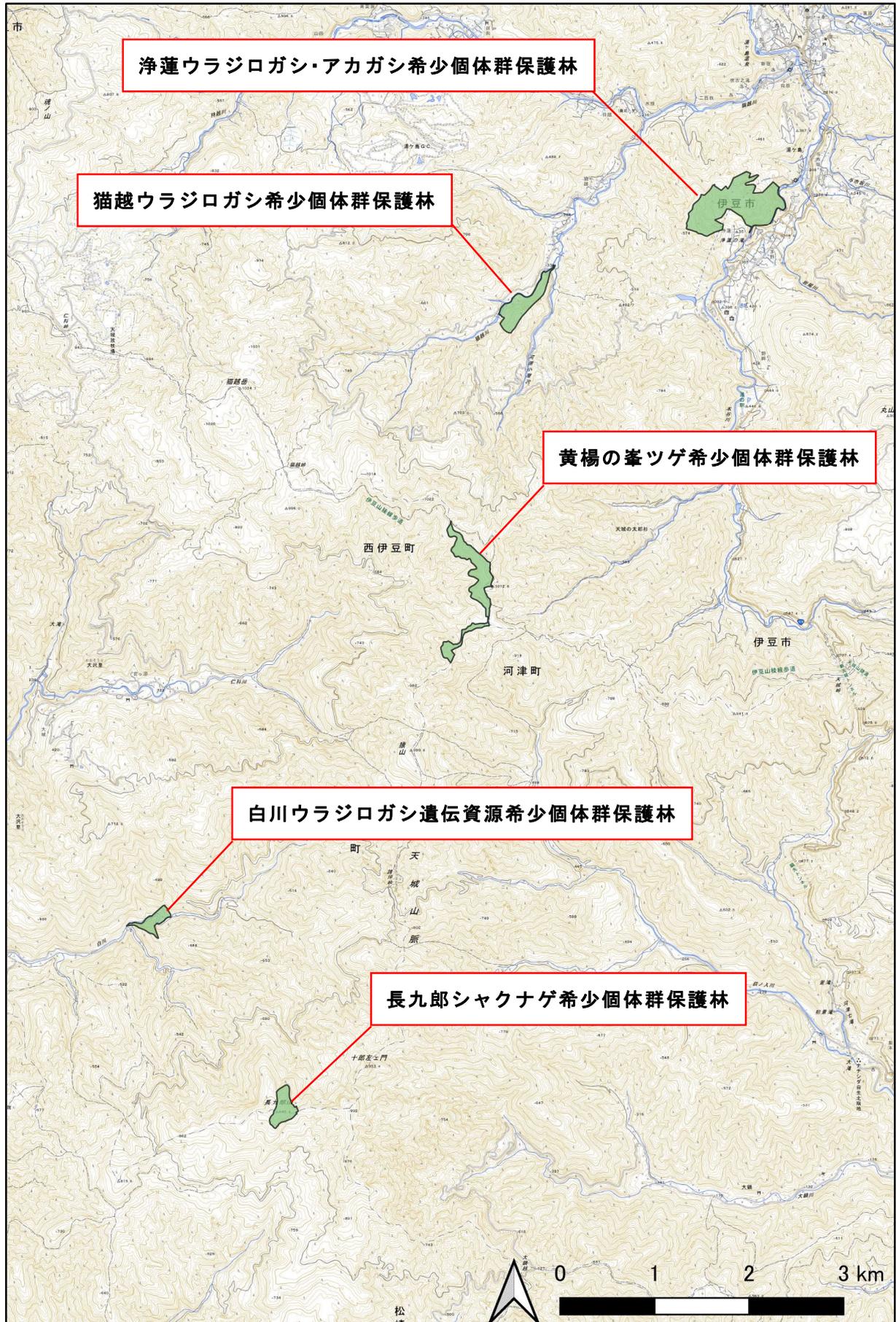


図 4 伊豆森林計画区（伊豆森林管理署）(2)